

1. 外部評価軽減要件

事業所番号	2393000050
事業所名	グループホームプルミエールさなげ

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 茶華道やオカリナ、ハーモニカと、様々なボランティアが来訪しており、中学生や学習塾の体験学習も積極的に受け入れている。 利用者が作った雑巾を地域の学校に寄贈する計画があり、交流が更に深まろうとしている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 2地区の区長や民生委員、地域包括支援センター職員、多数の利用者・家族の参加を得て年6回開催している。 目標達成計画の進捗を報告し、ホームから依頼した外出先の情報提供等にも協力が得られている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 地域包括支援センター職員が毎回運営推進会議に参加している。 市主催の会合にも積極的に参加している。 市の防犯体制強化の依頼には速やかに対応し、警察の協力を得て不審者侵入対応訓練も実施した。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族の来訪は多く、運営推進会議、お茶会、家族が共に活動する家族交流活動等、意見や要望を聞き取る機会が多い。 家族意見で夜間避難用に首かけLEDライトを装備する等、要望には速やかに対応している。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総 合 評 価		○

- ① 別紙４の「１ 自己評価及び外部評価」及び「２ 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙４の「１ 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

外部評価項目	確 認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	<p>(例示)</p> <p>① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。</p> <p>② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。</p>
3. 運営推進会議を活かした取り組み	<p>(例示)</p> <p>① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。</p> <p>② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。</p>
4. 市町村との連携	<p>(例示)</p> <p>① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。</p> <p>② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。</p>
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	<p>(例示)</p> <p>① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。</p> <p>② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。</p> <p>③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。</p>

[illegible]